

ワークシート AI の使い方は、目的・確かめ方・責任で設計する

年 組 番 名前（ ）

問1 指の数（1=ズル 2=まよう 3=ズルじゃない）で、はじめとあと

場面	はじめ	あと
① 小論文を AI に書かせ、そのまま出した		
② 自分の下書きを AI に添削させ、サービス名・入力・日付を書いて出した		
③ 課題のプログラムを AI に書かせ、動かして中身を理解してから出した		
④ 英語の和訳を AI に出させ、写した		
⑤ 探究のテーマを AI と壁打ちして決めた（AI の案は 1 つも採らなかった）		
⑥ 校内模試で、AI の検索機能が付いた端末を机に置いていた		

自分の AI の使い方のルール（目的・ルール・開示で 2 行）

問2 たのみ方の設計：欄を埋めてから、ペアでたのみ（A が言葉、B がかく）

目的	読み手・使う場面	条件（長さ・色・入れないもの）	出力の形・できの基準

1 回目（一言だけ）	2 回目（条件を足す）	3 回目（ちがう所を言う）

言葉にできなかった所（＝自分の考えが決まっていなかった所）：



この作品は クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 ライセンスで提供されています。

出典：Data is CITY (teleport.jp/dataiscity/)

<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

ワークシート AI の使い方は、目的・確かめ方・責任で設計する

年 組 番 名前（ ）

問3 本物はどっち？（写真 A・B と、班の場面）

写真 A・B： ☐ A が本物 ☐ B が本物 ☐ どちらも本物 ☐ どちらも AI ☐ わからない

自信（1=ぜんぜん 5=かんぺき） 1 2 3 4 5 に○

班の場面	言っていること（主張）	出どころ（最初に出したのは誰か）	独立した情報源（2つ以上）	結論と、次にすること

問4 友だちの写真の加工：段階ごとに、止められる人と方法

段階	止められるのは誰か	止める方法（具体的に）
作る		
共有する		
広める・保存する		
依頼する・見ていた		

問5 振り返り（200 字・宿題でよい。「変わらなかった」でもよい）
